

若手船員（内航貨物船）にインタビュー

四国内の船員（内航貨物船）で働く 20 代の男性に職場での雰囲気や、やりがいなどのお話を聞きました。



船や機械が好きな人に 陸上生活では得られない体験

どうして船員の仕事を希望したのですか？

私は海辺の町で生まれ育ちました。小さいころから海や水産物が身近にあり、海に関係する水産高校に進学しました。水産高校で実習船に乗船して、航海にできる機会があり、それがきっかけで船員になりたいと思いました。

休みの日は何していますか？

私の会社では、60日乗船勤務を終えた後に20日を陸上休暇として過ごしています。約3週間の連続した休みになるので、地元で過ごすだけでなく、県外にいった友達のところに行きかねて遊びに出かけたり、冬はスノーボーのツアーに参加したりと楽しく過ごしています。休暇中は仕事のことは考えないで、ON と OFF のメリハリをつけてゆっくり過ごしています。



こうした絶景も船員ならではのことでしょ

働くまで知らなかった船員のいいところはなんですか？

船で、北海道から沖縄まで日本一円の港に行く機会があります。港では、待機時間などもあり長い時だと1週間停泊することもあります。そういった時に、空いた時間を活用してレンタカーなどを借りて、他の乗組員の人たちと観光に出かけたりして旅行気分を味わうことができます。色々な街を知れるのも船員の仕事の醍醐味です。

最後に船員になろうか迷っている人に一言？

はじめ船に乗ると船酔いや、陸上生活と船上生活の違いに戸惑うことも多いかと思いますが、また自然を相手にする仕事でもありますので、危険な場面も仕事をしていくうえで起きることもあり、慣れるまでは大変な仕事です。慣れるまで色々、苦労することもあるかもしれませんが、海のうえには陸上生活だけでは見られない素晴らしい景色や自然の雄大さに、心が和まされる場面を体験できる機会もあります。

また給料面などは、陸上の仕事に比べると高収入であり、会社によるかもしれませんが、交通費の全額補助や、乗船中の食料は会社が負担など福利厚生面も充実した内容となっています。大きな船を運転に興味をもっていたり、機械のメンテナンスをすることが好きな人にはいい職場環境の仕事だと思います。